

令和6年度 第1回越前市市民協働推進会議

日 時 令和6年6月25日（火）

午前10時～11時30分

会 場 越前市役所3階 大会議室

次 第

1 委員紹介 . . . p.1

2 座長及び副座長の選任について

3 市民活動に関する補助金について . . . p.2

4 令和6年度事業の公開審査会について

（1） 日 時 令和6年7月7日（日）

会 場 市民プラザたけふ 3階 多目的室1

事前説明 午後0時30分

審 査 会 午後1時00分

終 了 午後5時15分

（2） 審査申請事業について . . . p.5～

（3） 審査の方法について . . . p.8～

（4） 審査員の選任について

5 意見交換

6 その他

越前市市民協働推進会議委員名簿（令和６年度～令和７年度）

（敬称略・順不同）

	氏 名	経 歴	備 考
1	いとう ともゆき 伊東 知之	・ 仁愛大学地域共創センター長 ・ 仁愛大学人間生活学部 子ども教育学科教授	令和６年度～令和７年度 市民自治推進委員会委員
2	のむら たかまさ 野村 卓正	・ 仁愛大学人間生活学部 健康栄養学科教授	令和６年度～令和７年度 市民自治推進委員会委員
3	のむら みゆき 野村 みゆき	・ 越前市エコビレッジ交流センター主任	令和６年度～令和７年度 市民自治推進委員会委員
4	たなか しげこ 田中 滋子	・ ロハス越前 代表 ・ 特定非営利活動法人 のっぽえちぜん副理事長	令和６年度～令和７年度 市民自治推進委員会委員
5	とみなが よしふみ 富永 良史	・ 発創デザイン研究室 代表	学識経験者
6	たなべ かいちろう 田邊 嘉一郎	・ あそぼっさ越前市！ハッピープロジェクトチーム 代表 ・ 特定非営利活動法人 のっぽえちぜん理事	市民活動実践者
7	うの じゅんこ 宇野 純子	・ 武生商工会議所女性会会長	経済団体を代表するもの （団体からの推薦）
8	こんどう たつろう 近藤 達郎	・ 一般社団法人武生青年会議所 指名理事（毎年１月に役員改選）	公益団体 （団体からの推薦）
9	はしもと なおこ 橋本 尚子	・ 越前市職員（総務部長）	行 政

市民活動に関する補助金について

■協働たねまる活動補助金

項 目	内 容
目 的	市と協働で継続的に取り組む公益的な社会貢献活動等を行う市民活動団体を支援することで、市民と行政の協働によるまちづくりと団体活動の自立及び活性化、市民活動の拡充、市民活動に対する市民理解の推進を図る。
対象団体	市内に主たる事業所または活動拠点があり、市内在住者又は市内に通勤、通学する人の5人以上で構成し、かつ1年以上の活動実績のある団体。（イベント等のための実行委員会は対象外）
要 件	原則、3年以上継続して活動すること。
補助率	事業費（補助対象経費）の5分の3以内
補助限度額	1年目／30万円 2年目／20万円 3年目／10万円

■地域貢献活動支援補助金

項 目	内 容
目 的	自由な発想や若い感性で行うまちづくり活動を支援することで、その活動を通じ、まちづくりなどで活動することができる市民を育成し、地域の活力を向上させる。
対象団体	① 市民団体 市内に主たる事務所または活動拠点があり、市内在住者又は市内に通勤、通学する人の5人以上で構成する団体。 ② 学生団体 事業等の実施に際し、担当教員等の指導を受けることができ、代表者が成年である学生団体。（未成年のみで構成される学生団体の場合は、担当教員等を代表者とするもの）
要 件	市内で活動すること。
補助率	事業費（補助対象経費）の5分の3以内
補助限度額	10万円

■地域自治振興事業（特別事業）について

項 目	内 容
目 的	自治振興会が市と協働で取り組むことができる公益的な社会貢献活動で、地域住民の参加のもと、地域の特性を活かし、地域住民の福祉の向上が期待できる事業。
対象団体	地区自治振興会（17団体）
要 件	通常交付金ではできない地域の特性を活かすハード・ソフト事業
補助率	事業費（補助対象経費）の5分の3以内 ※後継者の育成や青年・女性層、外国人の参画に資する事業は5分の4以内
補助限度額	ハード事業・ソフト事業／100万円

ω

	R5			R6			R6			R7			R7										
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	...			
R6年度事業					●市民協働推進会議			●市民協働推進会議							●市民協働推進会議								
			募集(～1/19)			審査会	事業実施														報告会		
		R6年度補助金枠予算要求		ブラッシュアップ		★補助額決定																	
R7年度事業																募集		審査会					
																R7年度補助金枠予算要求	ブラッシュアップ	★補助額決定					

令和6年度 地域自治振興事業(特別事業)事業審査会 結果概要

	団体名・事業名	事業費(円)	申請額(円)	全体得点率 (順位基準)	採択結果	内示額(円)	審査会の意見(要約)
1	南中山地区自治振興会 「スポーツの力で、地域を元気に！」 ～地域の未来は、私たちの手で創る～	855,000	684,000	84.4%	採択	684,000	【特に評価する点】 ・「フェンシングのまち」の定着を目指し、持続的な活動を計画している点が良い。 ・高齢者の健康づくりへの展開まで視野に入れているところが良い。 ・「子供に夢を。お年寄りには健康を。」はすばらしい志である。 ・子どもたちに夢を持ってもらえるような事業を進めてほしい。 ・今後の発展も期待できる。
							【見直しを求める点】 ・特定の選手だけでなく、フェンシング日本代表全体を応援していく形で事業を実施し、今後の継続的な活動につなげてほしい。 ・市内他地区のフェンシングオリンピック選手も取り上げ、他地区との協働も検討してほしい。 ・「モノ」として残るものよりも記憶に残る「コト」にお金を使う工夫を検討してほしい。 ・フェンシングに加えて、子どもから高齢者までの健康づくり活動ができると良い。
4 2	王子保地区自治振興会 「シン・王子保駅」 ～無人駅リニューアルで地域活性化～	1,500,000	1,000,000	82.4%	採択	1,000,000	【特に評価する点】 ・これからも継続が期待できる。 ・地域の高校生が企画に携わっている点がすばらしい。 ・若者をはじめ、多様な考え、行動力を集めて「シン」を実現しようとしている点が良い。 ・若者だけでなく、高齢者にも愛着のある王子保駅として、レトロな部分も残しつつ新しい発想も加えることで非常にバランスの良いものになると思う。
							【見直しを求める点】 ・具体的な企画をもう少し詰めていただきたい。 ・支出に関連した展開イメージを示していただきたい。 ・小さな試行錯誤をスピーディーに継続していくことを期待する。
3	味真野自治振興会 「味真野茶普及促進事業」	1,350,000	1,000,000	73.8%	採択	316,000	【特に評価する点】 ・地域の特色のある文化を残す取り組みである点が良い。 ・希少な地域資源を活かして人のつながりを生み出そうとしていて良い。
							【見直しを求める点】 ・映像で記録したものをYouTubeで公開して全国に発信するという方法もぜひ検討していただきたい。 ・「古いものを残す」だけでなく、「新たな価値を創り出す」という視点を持つと良い。 ・お茶の製法や地域の関わり方など、何か味真野茶ならではの特徴が出せると良い。

当初予算額 2,000千円

令和6年度 協働たねまる活動補助金 審査事業一覧

(単位：円)

No.	団体名	事業名	事業概要	事業費（予算）	交付申請額	備考
1	NPO法人 越前市障がいスポーツ クラブ	外部指導者による総合型地域ス ポーツクラブの発展	越前市初のソーシャルフットボールク ラブの立ち上げに際し、外部指導者を 導入。指導方法を学びながら自団体の 指導者を育成し、育成した指導者を他 団体に派遣することで、市内の総合型 地域スポーツクラブの交流による活性 化や人材育成を図る。	400,000	240,000	1年目 R6～R8年度

令和6年度 地域貢献活動支援補助金 審査事業一覧（市民団体）

（単位：円）

No.	団体名	事業名	事業概要	事業費（予算）	交付申請額	備考
1	一般社団法人 武高37オレンジズ	UIJターン促進のためのSNS活用プロジェクト事業	①ウェルビーイングを推奨し、普及活動を行っている専門家を招いて、ウェルビーイング構想の視点から、『広域地区の地域づくりの課題や可能性について』及びウェルビーイングに関する講演会を開催し、居住者や企業・団体関係者にPRする広報や普及活動を行う。 ②人生の転換期を迎える県外の若者に向けて、広域地区の居住者や企業の幸せ実感の生活スタイル等を紹介する動画等を作成し、Instagramで情報発信を行う。 ③活動に共感してもらえる地区内の団体・企業と連携を図り、団体・企業の広報(SNS)に掲載協力をポスター、チラシ等通じて依頼し、活動の輪を広げる。 ④UIJターン希望者からの地区内就職先企業を紹介する活動をサポートする。	167,000	100,000	単年 令和6年度
2	Fun Empathy (ファンエンパシー)	たけふを歩こう2024 ～まちなか今昔謎解き編～	中心市街地を歩き、パンフレットを見ながら謎解きをしてもらう。謎解きの内容は中心市街地の昔と今の魅力（歴史や飲食店など）を伝えるものとする。また、謎を解きながら、各スポットで写真を撮ってもらい、謎解き体験の思い出を残せるパンフレットも作成してもらう。 謎解きやポルトガル語対応パンフレットなどの新たな要素を加えたイベントを実施する。	140,000	84,000	単年 令和6年度
3	武生センター合唱団	武生センター合唱団 創立50周年記念第42回定期演奏会	創立50周年を迎えることから、多くの市民の皆様と共に歌う合唱団を組織し、記念コンサートを行う。また越前市を中心に活躍する音楽家を招き、合唱構成「ぞうれっしゃがやってきた」を発表する。 第1部は合唱団演奏、第2部では、みんなで歌いましょうのコーナーを設け、歌う楽しさを感じてもらう企画を実施する。	840,000	100,000	単年 令和6年度

令和6年度 地域貢献活動支援補助金（学生団体） 審査事業一覧

(単位：円)						
No.	学校名	団体名	事業名	事業概要（目的・内容）	事業費（予算）	交付申請額
1		ふくいSMILEアクティ部	高校生による越前市活性化事業	越前市公認のVtuberユニットである「越前クロニクル」とコラボしたイベントを開催する。 イベント内容は、福井県や越前市に関するクイズ大会や、ライブ、トークショー、ブース展示等。 来場者に積極的にSNSで発信してもらうことで、市の魅力も県内外に発信し、Vtuberの周知につなげる。 本事業ををとおして、来場者に越前市の魅力をアピールすることで、越前市をより好きになってもらい、市外からの来場者には越前市の知らなかった魅力を知ってもらうことを目指す。	100,000	100,000
2	仁愛大学	仁愛大学 織田ゼミ	にじいろ絵本プロジェクト ーブックトークを通して学ぶ性の多様性ー	近年、性の多様性に関する問題意識が高まっており、越前市でも同性パートナーシップ制度が導入され、小さいうちから性の多様性について知っておく必要がある。 越前市で性の多様性に関する活動に取り組む団体へのヒアリングを行い、現状や課題を明確化する。また、先行事例の調査や性の多様性について知るための勉強会を行う。 様々なLGBTQ+の問題に関する絵本の収集や展示する絵本のPOP作成など、子供とその親の性の多様性への知識の浸透に向けて、イベントを開催する。資料の展示やブックトーク、ワークショップを実施する。	100,000	100,000
3	仁愛大学	仁愛大学 野村ゼミ	家庭における災害食備蓄推進プロジェクト	防災備蓄をしていない人に向けて、市販災害食の展示紹介や試食会を実施する。 本事業を通して気軽に備蓄を始めてもらうことで、家庭での防災備蓄率の増加を目指す。 また、市販災害食では食塩相当量が通常の献立よりも多いことがこれまでの調査で明らかになっており、災害避難中は塩分摂取過多になっていると見込まれる。災害時でも適正な塩分を摂取できるような減塩災害食を開発し、普及する。 減塩災害食の試作・製造および試食アンケート調査を実施する。	100,000	100,000
4	武生商工高校	福井県立武生商工高等学校 電気情報科	クレーンゲーム製作と地域交流	部品から全て自分たちで製作したクレーンゲームを越前市内のイベント（越前市ものづくりフェスタ、商工デパート等）に出店する。子ども達を中心に楽しんでもらうとともに、ものづくりへの興味を持ってもらうことを目的とする。 クレーンゲームには独自のコインを製作し無料でプレイできるようにする。 高校生でも製作可能という事を認知してもらい、ものづくりを身近に感じてもらい、将来の進路選択につなげる。	100,000	100,000

5	武生東高校	福井県立武生東高等学校 第2学年 チーム「伝統工芸品」	H i n o ・ Q u e s t Happy Project 2024 越前市を中心とした地域活性化のプランの立案と実践 実践プランその1「伝統工芸品の魅力を家族層に知ってもらおう share×link ～伝統と今を繋ぐ架け橋に～」	越前市で行われているイベントや団体と越前箆笥と越前和紙、越前うるしを組み合わせで伝統工芸品の魅力を家族層に知ってもらう。 小柳箆笥、越前和紙の里、越前うるしの里会館等でフィールドワークを行い、さしもの技術を学ぶ。 千年未来工芸祭にてさしもの技術を活かしたストラップを製作するワークショップを実施。 ワークショップ参加者に伝統工芸品の魅力について伝え、知ってもらうことで越前市との関わりを深めてもらう。	115,000	100,000
6	武生東高校	福井県立武生東高等学校 第2学年 チーム「スイーツ×六条大麦」	H i n o ・ Q u e s t Happy Project 2024 越前市を中心とした地域活性化のプランの立案と実践 実践プランその2「スイーツを使った福井県産の六条大麦のPRのプランの立案と実践」	福井県は六条大麦の生産量が全国一位だが、それを知っている県民は多くはない。 知名度を上げるために、手軽で親しみやすいスイーツであるドーナツを福井県産の六条大麦を使用して作り、越前市内のイベント等で販売しPRする。 まずは学校祭の模擬店にて販売し、改良を重ねる。 その後は菊人形や越前たけふ駅の道の駅等でも販売し、訪れた人にPRする。 最終的には、県外の人にも福井県産の六条大麦を広めることを目指しているが、その前段階として、県内の人に六条大麦について知ってもらうために本事業を行う。	100,000	100,000
7	武生東高校	福井県立武生東高等学校 第2学年 チーム「B級グルメ」	H i n o ・ Q u e s t Happy Project 2024 越前市を中心とした地域活性化のプランの立案と実践 実践プランその3「福井の特産品を使用した越前市のB級グルメ（ボルガライス）を広めよう」	県内外の人に福井県の食材の良さを知ってもらい、食べやすさ、美味しさ、面白さを取り入れたB級グルメを販売し、地域活性化につなげる。 ボルガライスをスティック状に加工した「ボールガライス」を開発し、提携先に製作を依頼する。 「ボールガライス」には紅しきぶ（トマト）、福地鶏の卵、コシヒカリ等、福井県産の食材を使用する。 たけふ菊人形にて出店し、購入者に福井県産の食材をPRする。	100,000	100,000
8	武生東高校	福井県立武生東高等学校 第2学年 チーム「飲もっさ！食べよさ！楽しもっさ！withだるまちゃん」	H i n o ・ Q u e s t Happy Project 2024 越前市を中心とした地域活性化のプランの立案と実践 実践プランその4「飲もっさ！食べよさ！楽しもっさ！with だるまちゃん」	1年次に武生東高校生徒を対象に「将来越前市に住みたいか」というアンケート調査を行ったところ118人中81名が「いいえ」と回答した。理由の一つとして「楽しめるところが少ない」という意見に焦点をあて、同世代の自分たちが人気、親しみのある食材を用いて、楽しめる機会をつくり、交流、活性化に繋げる。越前市の中でも来訪者数の多いダルマちゃん公園を利用し、子ども、家族世代だけでなく、若い世代にだるまちゃんとふれあいあうことができ、楽しめる場を提供する。 同世代に親しみのある食べ物、ハンバーガーとフラッペを組み合わせたメニューや、だるまちゃんをモチーフにした、食べ物につけるカップや旗を製作し、菊人形で販売する。	100,000	100,000

協働たねまる活動補助事業 審査方法について

- 1 プレゼンテーション（質疑応答含む）の内容、審査申請書の内容を踏まえ、「市民協働推進会議」委員を中心として構成された審査員が、審査項目について採点をします。
- 2 採択基準を満たした事業の中から、審査員の意見を踏まえ、市が最終的な補助事業を決定します。

《 採択基準 》 各審査項目の得点率が6割以上の点数であること。

※申請数によっては、採択基準を満たしていても補助対象事業とならない場合があります。

＜審査項目＞

審査項目	視 点	点数
① 公益性・ニーズ	・社会貢献活動として、事業が市民や地域に還元される内容ですか。 ・地域課題を踏まえ、市民や地域のニーズを的確にとらえた事業ですか。	1～5
② 協働性	・協働によって事業がより効果的、効率的に実施でき市民サービスの向上が期待できますか。 ・提案者と市との役割分担は明確で適切ですか。	1～5
③ 計画性・実現可能性	・事業の目的・目標・効果が明確で、具体的な事業ですか。 ・事業の計画（スケジュール等）、資金計画、実施体制が実現可能ですか、また、事業へ取り組む姿勢に、熱意を感じられますか。	1～5
④ 発展性・継続性	・一過性ではなく、事業の継続的発展に向けた展望がありますか。 ・この事業を機会に、市民活動及び地域活動が発展する可能性や、効果の広がりが期待できますか。	1～5
⑤ 独創性・先駆性	・企画の独創性、地域的特性に配慮した事業ですか。 ・今後の協働事業のモデルとなるような先駆性のある事業ですか。	1～5

評価	特に優れている	優れている	普通	あまり良くない	良くない
点数	5	4	3	2	1

➤ プレゼンテーション・質疑応答（10分＋10分）

審査委員及び参加者を聴衆に、1団体10分間のプレゼンテーションをしていただきます。

※発表時間は、短くても7分以上お話しいただきますようお願いいたします。

- ・プレゼンテーションでは、次の内容を説明してください。

●自己紹介、団体の紹介（簡潔に）	●事業の進め方（スケジュールなど）
●事業の目的・内容・期待される効果	●予算の説明（詳細に） など

- ・プレゼンテーション終了時間の3分前に1回、1分前に2回、ベルを鳴らします。
必ず制限時間内に終わってください（説明の途中でも終了とさせていただきます）。

- ・プレゼンテーションのあと、審査委員から10分程度の質疑応答があります。

**越前市地域貢献活動支援補助事業
審査方法について**

1 プレゼンテーション（質疑応答含む）の内容、審査申請書の内容を踏まえ、「市民協働推進会議」委員を中心として構成された審査員が、審査項目について採点をします。

2 採択基準を満たした事業の中から、審査員の意見を踏まえ、市が最終的な補助事業を決定します。

《 採択基準 》 審査員の全体得点率が6割以上であること。

※申請数によっては、採択基準を満たしていても補助対象事業とならない場合もあります。

<審査項目>

項 目	評価の視点	点数
①公益性	・ 地域貢献活動として、事業が市民や地域に還元される内容か	1 ～ 5
②独創性	・ 自由な発想での事業内容か	1 ～ 5
③実現性	・ 事業の計画が実現可能なものになっているか ・ 事業に取り組む姿勢に熱意を感じられるか	1 ～ 5
④発展性	・ この事業を機に、市民活動や地域活動が発展する可能性や、効果の広がりが期待できるか	1 ～ 5

評価	特に優れている	優れている	普通	あまり良くない	良くない
点数	5	4	3	2	1

➤ **プレゼンテーション・質疑応答（10分＋5分）**

審査委員及び参加者を聴衆に、1団体10分間のプレゼンテーションをしていただきます。

※発表時間は、短くても7分以上お話しいただきますようお願いします。

・プレゼンテーションでは、次の内容を説明してください。

●自己紹介、団体の紹介（簡潔に）	●事業の進め方（スケジュールなど）
●事業の目的・内容・期待される効果	●予算の説明（詳細に） など

・プレゼンテーション終了時間の3分前に1回、1分前に2回、ベルを鳴らします。
必ず制限時間内に終わってください（説明の途中で終了とさせていただきます）。

・プレゼンテーションのあと、審査委員から5分程度の質疑応答があります。

採点例１「協働たねまる活動」

項目 委員名		①公益性 ニーズ	②協働性	③計画性・ 実現可能性	④発展性・ 継続性	⑤独創性・ 先駆性
1	A審査員	2	3	2	2	3
2	B審査員	5	5	4	4	2
3	C審査員	3	2	5	5	1
4	D審査員	1	3	2	2	1
5	E審査員	5	4	3	4	5
得点率 (得点／25)		64%	68%	64%	68%	48%
全体得点率 (総得点／125)		62%				

- 審査項目⑤が得点率 6 割未満のため**不採択**

採点例２「地域貢献活動」

項目 委員名		①公益性	②独創性	③実現性	④発展性
1	A審査員	2	3	2	2
2	B審査員	4	5	4	4
3	C審査員	3	2	5	5
4	D審査員	1	3	2	2
5	E審査員	4	4	3	4
得点率 (得点／25)		56%	68%	64%	68%
全体得点率 (総得点／100)		64%			

- 全体得点率が 6 割以上であるため**採択**

	団体名・事業名		項 目	採 点					コメント
				特に優れている	優れている	普通	あまり良くない	良くない	
1	団体名	一般社団法人 武高37オレンジズ	(1) 公益性	5	4	3	2	1	
	事業名	UIJターン促進のためのSNS活用プロジェクト事業	(2) 独創性	5	4	3	2	1	
	事業費	167,000円	(3) 実現性	5	4	3	2	1	
	申請額	100,000円	(4) 発展性	5	4	3	2	1	
2	団体名	Fun Empathy (ファンエンパシー)	(1) 公益性	5	4	3	2	1	
	事業名	たけふを歩こう2024 ～まちなか今昔謎解き編～	(2) 独創性	5	4	3	2	1	
	事業費	140,000円	(3) 実現性	5	4	3	2	1	
	申請額	84,000円	(4) 発展性	5	4	3	2	1	
3	団体名	武生センター合唱団	(1) 公益性	5	4	3	2	1	
	事業名	創立50周年記念第42回定期演奏会	(2) 独創性	5	4	3	2	1	
	事業費	840,000円	(3) 実現性	5	4	3	2	1	
	申請額	100,000円	(4) 発展性	5	4	3	2	1	

公開審査会タイムスケジュール（仮）

職員集合	9:00	会場準備	
審査員集合	～12:30	昼食用意あり	大会議室 2
	12:30	事前説明	
開始	13:00	座長挨拶、進行説明	多目的室 1
	13:10	たねまる 1 団体 20分	
		地域貢献（市民団体） 3団体 15分×3＝45分	
	14:20	結果協議 10分	大会議室 2
	14:35		多目的室 1
		地域貢献（学生団体） 4 団体 15分×4＝60分	
	15:35	休憩	
	15:50	地域貢献（学生団体） 4 団体 15分×4＝60分	
	16:55	結果協議 15分	大会議室 2
	17:10		
終了			